

スマホ所有の有無がシニアのニュース取得方法に影響をもたらす

～「テレビ・新聞」が主なニュース取得方法のシニアに変化の兆しが～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果1 : シニアのニュース取得方法

調査結果2 : シニアのニュース取得方法結果をもとにしたグループ分け

調査結果3 : シニアのニュース取得方法のグループを分けた要因

■ 調査結果

1-1 シニア世代のニュース取得は「テレビ」「新聞」がメイン

シニアはニュースを何で得ているのであろうか。当世代において、スマホ所有が5割に迫る状況ではあるが、ネットからニュースを得ている人はどのくらいいるのか、またそのような人は、どのような特性があるのか、2018年1月に調査した結果より分析する。

まず、ニュース取得方法の単純計であるが、図1に示す通り、シニアのニュース取得源は主に「テレビと新聞」であった。

ICTに関する部分は「ソーシャルメディア」「web」がそれぞれ5%程度存在した。

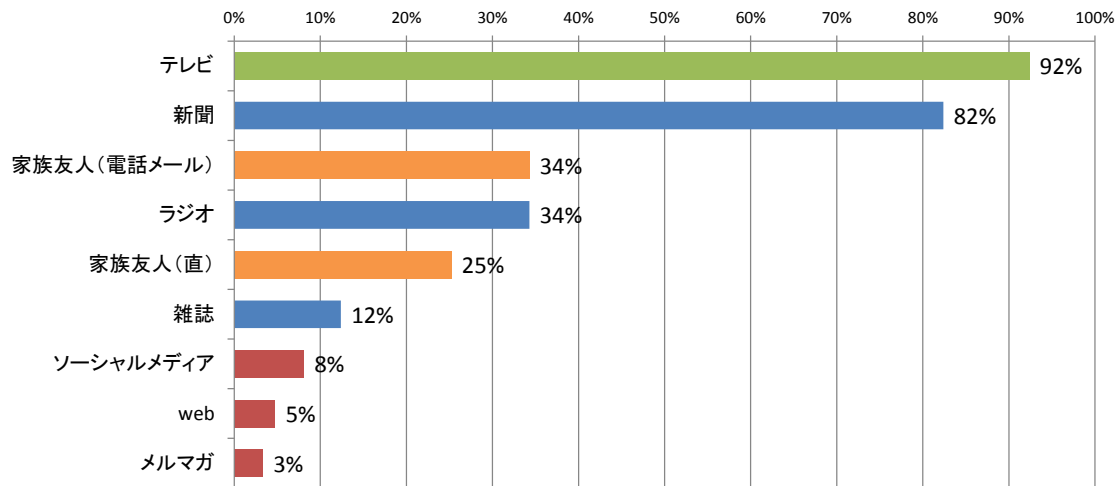


図1 シニア世代のニュース取得方法

この結果を世代別にみると、図2の通り「テレビ」はどの世代でも高いが、「新聞」は若年層ほど低い。若年層は「インターネット」や「ソーシャルメディア」の割合が高くなっている。

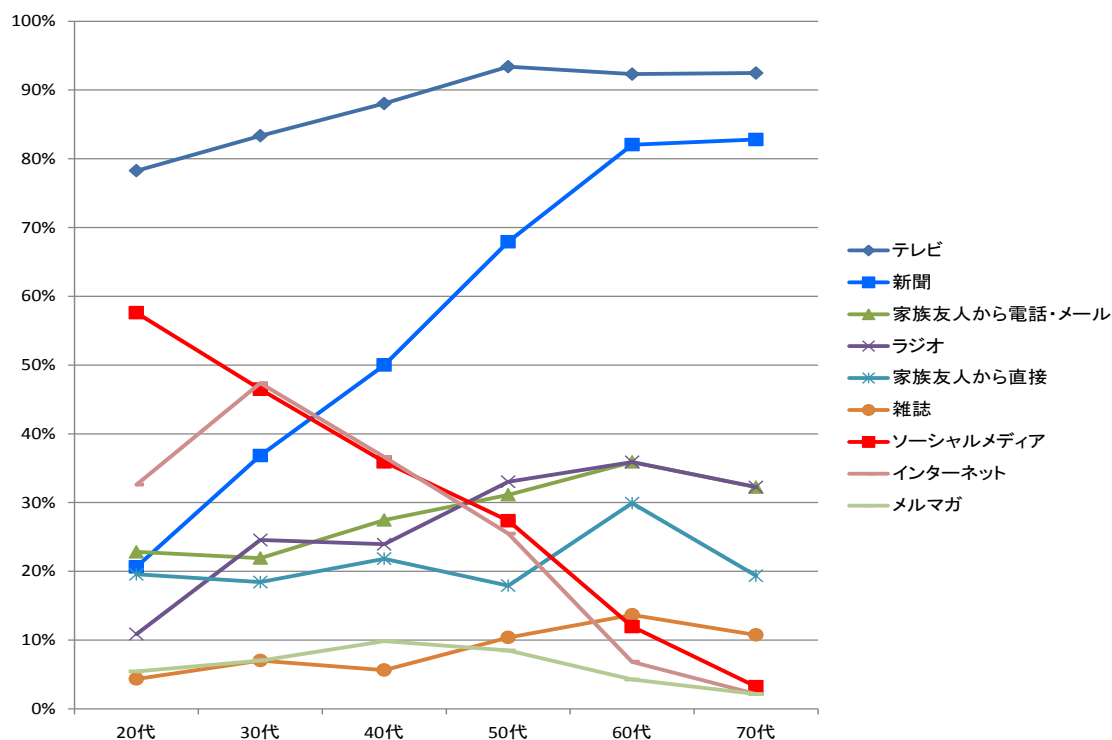


図2 ニュース取得方法 全世代

2-1 「テレビ・新聞」派が半数、それに加え「口コミ」「ネット」を情報源としているシニアのグループも存在

この回答結果をもとに、統計処理をおこない、シニアのグループ分けは実施した。その結果、シニアのニュースの取得方法は、5つのグループに分けることができた。

グループ	主にテレビ・新聞	テレビ・新聞と口コミ	従来型メディア	テレビ・新聞とネット	マルチ	合計
ニュース取得方法の個数	2.0	3.6	3.8	3.3	6.3	2.9
サンプル数	258	151	41	39	21	510
構成比	51%	30%	8%	8%	4%	
60代構成比	53%	52%	56%	74%	86%	56%
男性比	51%	37%	56%	62%	48%	48%

図3 シニアのニュース取得方法の回答をもとにグループ分け

約半数は「テレビ・新聞」であった。そのグループと似ているが、「テレビ・新聞」に家族・友人からの口コミを加えたグループが約3割、女性中心であった。「テレビ・新聞」に加え、雑誌やラジオを加えた「従来型メディア」グループ、「テレビ・新聞」にSNSやイ

インターネットから情報を得る「テレビ・新聞とネット」グループがそれぞれ8%存在した。また、4%と少数派ではあるが、6つ程度の手段を用いる「マルチ」グループが存在した。

3—「スマホ所有」の有無がニュース取得方法を分けた要因が高い

では、何故そのようなグループになったのか、「ICTデバイス所有」や「ライフスタイル」「属性」と相関を見てみた。やはり、「ICTデバイス所有」が最も関係が高い。図5で示したように、スマホ所有者は、非所有者と比較し、ニュースの見る先が大きくことなる。

関係が強い	関係がやや強い	ほとんど関係ない
スマホ所有・ パソコン所有	年代・有職・ イノベータ度	家族・日々の活動・ 経済的ゆとり・ 時間的ゆとり・性別

図4 シニアのグループ分けとの相関

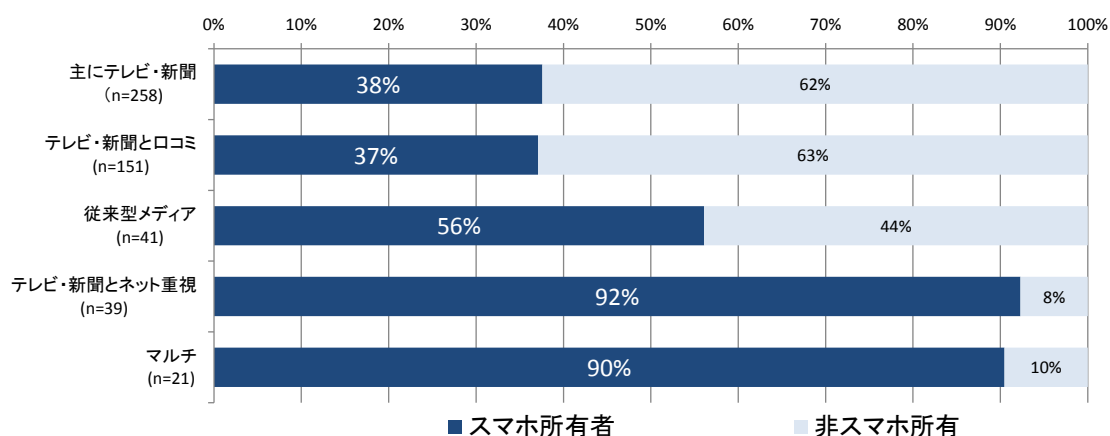


図5 ニュース取得方法のグループとスマホ所有

シニア世代の「ニュースの取得方法」は、テレビ・新聞がメインであるが、スマホ所有者を中心に、ネットでも合わせて取得する層が現れているのが確認された。若年層に見られるような、ネット中心の取得方法に移行するか、経年を追って見ていきたいと思う。

モバイル社会研究所では、当結果のようにスマホ普及がシニアのライフスタイルにどのような変化が起きているのか、分析していく。

【参考資料】

	スマホ所有	スマホ未所有	全体
テレビ	94%	92%	93%
新聞	84%	80%	82%
家族友人（電話メール）	26%	19%	22%
ラジオ	38%	31%	34%
家族友人（直）	32%	32%	32%
雑誌	15%	11%	13%
ソーシャルメディア	12%	0%	6%
web	14%	2%	7%
メルマガ	7%	1%	4%

図6 ニュース取得方法とスマホ所有率

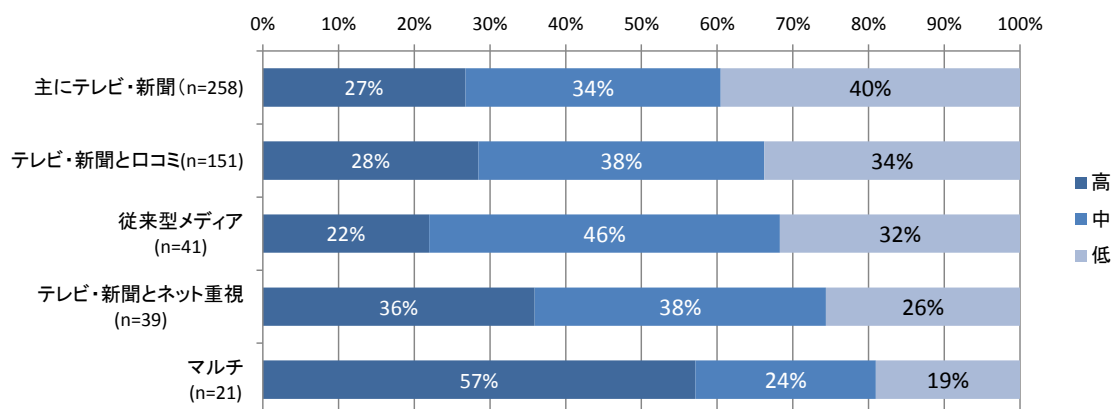


図7 ニュース取得方法のグループとイノベータ得点

■ 調査概要（調査名 シニア調査 訪問留置調査）

調査時期 : 2018年1月 調査対象 : 関東1都6県、60～79歳男女
 標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都市規模で割付 510サンプル回収

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
 株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087